

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年6月10日

【観測結果（調査日：6月3、5日）】

6月3日に渥美外海、5日に伊勢湾の観測を実施しました。

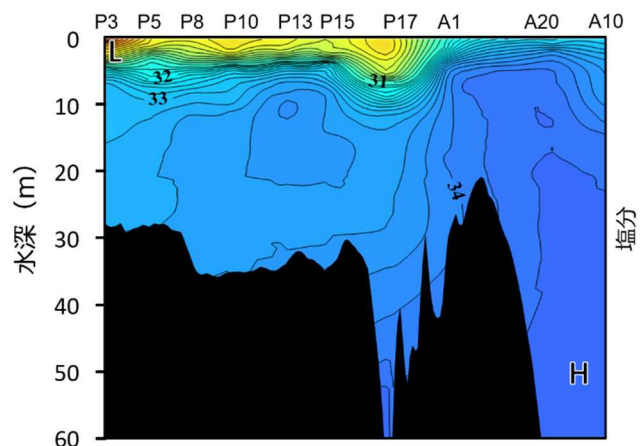
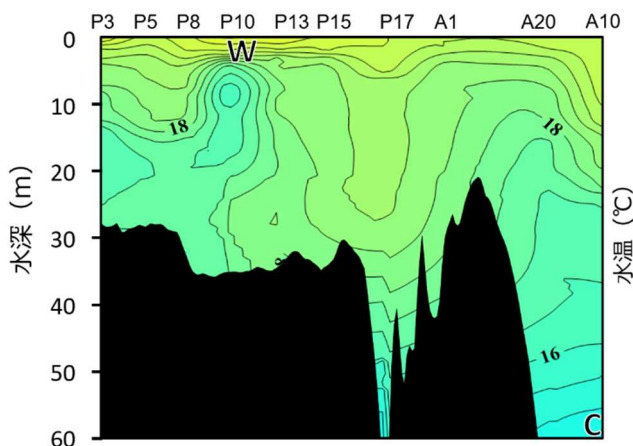
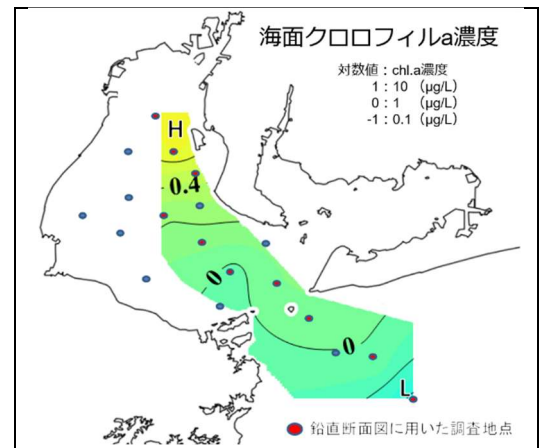
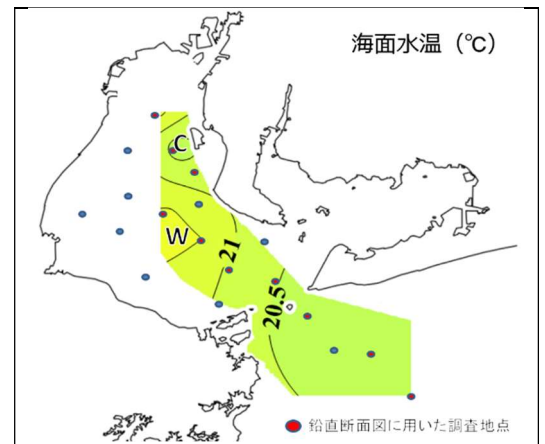
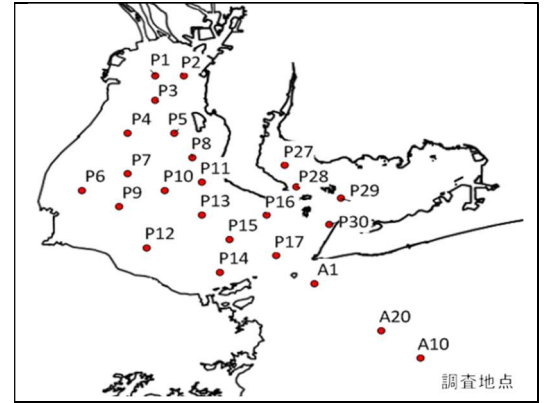
【水平分布（調査点：P3～A10）】

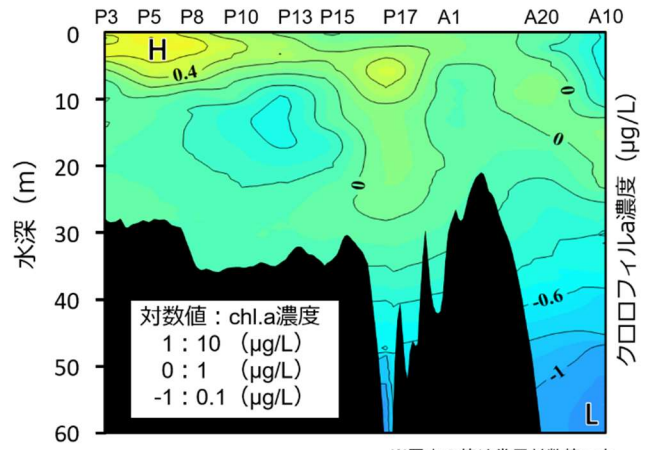
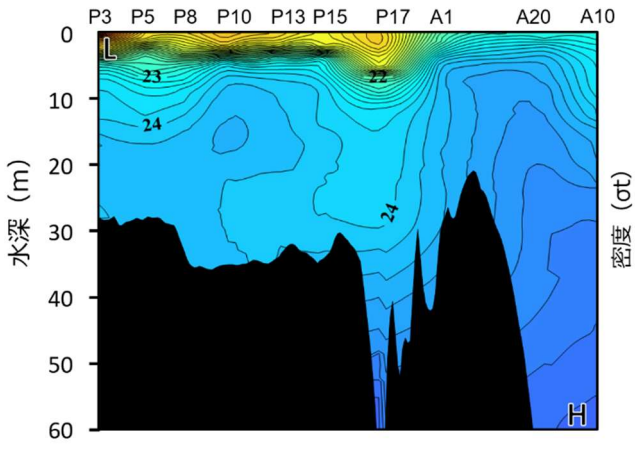
海面水温は、日射と気温の上昇の影響により内湾と外海ともに21℃前後の様な水に覆われています。

海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾奥で高くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

日射と気温上昇、河川水の流入によって伊勢湾の表層は、高水温かつ低塩分の軽い水が分布しています。そのため、亜表層付近が成層状態になっており、海水が上下で混ざりにくく、酸素供給の乏しい湾奥に溶存酸素濃度（DO）の低い水塊がみられます。一方で、渥美外海では、湧昇が生じており、上向きに輸送された底層の水が内湾へ波及していると考えられます。





※図中の値は常用対数値です

